

第1回一般国道2号岩国・大竹道路トンネル技術検討委員会 《議事録》

1. 日時：令和3年2月3日(水)13:30～15:30
2. 場所：山口河川国道事務所 第1会議室
3. 出席者＜委員＞

氏名	所属
かなおり ゆうじ 金折 裕司	山口大学大学院 理工学研究科 元教授
くさか あつし 日下 敦	国立研究開発法人 土木研究所 道路技術研究グループ 上席研究員
しんじ まさと ◎進士 正人	山口大学大学院 創成科学研究科 教授
にしがき まこと 西垣 誠	岡山大学 名誉教授
ましも ひでと 真下 英人	一般社団法人日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所 所長

◎:委員長

4. 配布資料

- ・議事次第、配席表
- ・資料1 トンネル技術検討委員会規約(案)
- ・資料1-1 技術検討委員会の目的及び審議・検討事項
- ・資料1-2 地質調査等の結果整理・評価((1)地質調査概要、(2)水文調査概要)
- ・資料1-3 まとめ
- ・参考資料

5. 議題

- ・地質調査等の結果整理及び評価

6. 議事概要

(1)地質調査

1)現地調査

○地質調査結果について、以下のことを確認した。

- ・地表面への影響を考慮したトンネル構造及び施工方法の検討に必要なデータは十分に収集されている。
- ・造成された風化花崗岩が主体の盛土と地山の境界が把握できている。
- ・地山の大部分は硬質な花崗岩から構成されている。

2)地質区分・岩級区分

○岩級区分の設定にあたって、以下の指摘を受けた。

- ・岩級区分の設定において風化変質の程度等も考慮し行う必要があり、再整理が必要。
- ・再整理にあたっては、委員によるコア確認の機会を設け、区分判定について助言を受けること。
- ・室内試験結果との相関関係も整理すること。

3)地盤定数の検討方法

○室内試験結果を踏まえて設定することで了承を得た。

(2)水文調査

1)地下水位

○地下水位観測において以下の指摘を受けた。

- ・盛土内地下水位の状況把握に努めること。
- ・地下水位観測のデータ収集は継続すること。

2)定常水位の設定方法

○令和3年3月までの地下水位観測結果をもとに定常水位を設定することで了承を得た。

(3)第2回検討事項

○第2回検討委員会の検討事項は、下記とすることを確認した。

- ・岩級区分の設定について
- ・地質縦横断図について
- ・室内試験(地質・岩石試験)結果について
- ・地盤定数の設定について
- ・地下水の定常水位の設定について
- ・地表面沈下解析手法について
- ・トンネル構造検討及び対策工法の考え方について

(4)その他

○その他事項として以下の指摘を受けた。

- ・現状においても季節により住宅団地地表面が変動している可能性があるため事前の長期観測が必要。把握に努めること。

以上